

## 経営健全化方針に基づく取組状況（令和3年度）

○法人名 有限会社 板馬養殖センター

○経営健全化方針を策定した理由

南城市・知念漁業協同組合・有限会社 日建商事の三者が出資し、令和元年度決算で146,914千円の債務超過に陥っているため。

○財政的リスクの状況

	令和1年度（第39期） 決算	令和2年度（第40期） 決算	令和3年度（第41期） 決算
債務超過額（千円）	120,414	126,917	102,068

○主な取組状況

<p><b>【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍自販機の導入により、前年度の倍の売り上げを達成。それに伴い個人売上も増加した。</li> <li>・新商品の瞬間冷凍車海老を沖縄県優良県産品に申請、認定された。それに伴い新商品をブランド化し商標登録することで付加価値を付け、他社との差別化を図る。</li> </ul>
<p><b>【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】</b></p> <p>令和2年度から引き続き経営健全化に向けての活動が行われているか確認を行った。令和3年度は新たに導入した冷凍自動販売機がSNSで評判となった影響もあり販売額が増加した。また、クルマエビ価格も例年より高値で取引されたこともあり、今期の収支は大幅に改善していることを確認した。</p> <p>そのほか、懸案事項である養殖池の漏水工事については、引き続き沖縄県へ修復工事を実施するよう要請していくこととし、台風時の越波対策についても板馬養殖センター周辺の公園や分譲地にも被害を与える可能性もあることから、併せて対策を行うよう要請していく。</p>

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（千円）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
資産総額	50,673	37,785	61,904
（うち現金預金）	34,898	16,406	29,816
（うち売上債権）	1,800	4,882	3,974
（うち棚卸資産）	4,759	6,822	10,366
負債総額	171,087	164,702	163,973
（うち南城市からの借入金）	14,000	0	0
純資産総額	△120,414	△126,917	△102,068

(損益計算書から)

(千円)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	40,079	38,527	72,046
経常費用	52,483	54,042	64,626
経常損益	△ 12,404	△ 15,515	7,418
経常外損益	5,513	9,192	17,608
法人税	180	180	180
当期純損益	△ 7,070	△ 6,503	24,846